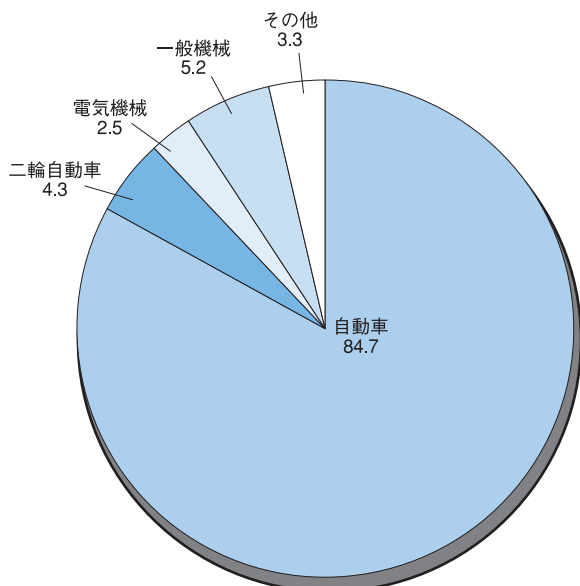


ダイカストの歩みと生産量

鋳物とダイカストの歩み

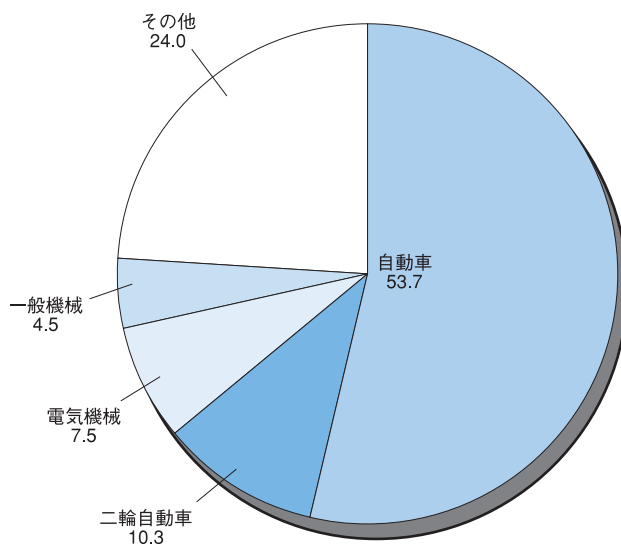
- B.C.4000年(紀元前) メソポタミアにおいて鋳造で銅製の斧、ヤジリなどを製作。
- 200年(紀元前) 中国大陸から日本に鋳造技術伝来。
- A.D.100年(紀元) 銅鐸・鏡を鋳造により製作。
- 749年(天平勝宝元年) 東大寺大仏を鋳造により完成。
- 1450年(宝徳2年) グーテンベルク活版印刷機を発明。
- 1838年(天保9年) ブルースがダイカスト法を開発、活字を鋳造。
- 1905年(明治38年) アメリカのドーラーがダイカストの商業生産開始。
- 1917年(大正6年) 輸入ダイカストマシン(手動式)により、日本最初のダイカスト企業設立。
- 1922年(大正11年) 国産最初のT式ダイカストマシン製作。
- 1952年(昭和27年) 油圧電気制御式ダイカストマシン初めて輸入。
- 1953年(昭和28年) 高純度亜鉛日本で初めて開発。
日本工業規格JIS H5301亜鉛合金ダイカスト制定。
- 1955年(昭和30年) 日本ダイカスト協会設立。
- 1958年(昭和33年) 日本工業規格JIS H5302アルミニウム合金ダイカスト制定。
- 1961年(昭和36年) 亜鉛合金ダイカスト品質証明制度開始。
- 1972年(昭和47年) 日本工業規格JIS B6612ダイカストマシン制定。
- 1976年(昭和51年) 日本工業規格JIS H5303マグネシウム合金ダイカスト制定。
- 1984年(昭和59年) 日本のダイカスト生産量、年50万トン達成。
- 1989年(平成元年) 日本のダイカスト生産量、年70万トン達成。
- 1997年(平成9年) 日本のダイカスト生産量、年80万トン達成。
- 2003年(平成15年) 日本のダイカスト生産量、年90万トン達成。
- 2005年(平成17年) 日本のダイカスト生産量、年100万トン達成。
- 2006年(平成18年) 日本のダイカスト生産量、年110万トン達成。

アルミニウム合金ダイカスト(%)



(2008年経済産業省／鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計による)

亜鉛合金ダイカスト(%)



(2001年経済産業省／機械統計による)

※2002年より統計区分が自動車とその他だけになったため2001年を使用。

アルミニウム合金および亜鉛合金ダイカストの用途別生産量